

平成 22 年 8 月度第 1 回街づくり委員会議事録

日時：'10-8-5（木）19：30～20：45

場所：平野市民センター会議室

出席者：雨宮、橋本、森、奥村、寺井、中井、竹吉、戸所、堀井、森川、杉中、
吉田、乾 以上 13 名

議事内容：

1. 膳所駅前ハロウィン祭りについて

7/14 実行委員会が開催され、これに出席した橋本委員から以下の報告があった。

- ① 京都北山のケースは我々の計画内容とは規模が余りにも違いすぎて参考には出来ず、身の丈にあった内容で企画して行くことを確認した。
(予算規模は北山：430 万円、当方：30 万円)
- ② 駅前ハロウィン祭りの基本骨格を次の通りとする。
 - ・実施日は 10 月 31 日(日)10：00～16：00
 - ・基本会場は膳所駅前周辺、パルコ前、西武前の 3 か所
 - ・基本イベントは仮装大会、模擬店、フリーマーケットの 3 つ。
- ③ PR はポスターを 1 万 2 千部作成し、「滋賀リビング」冊子に織り込み住民配布する。テレビ、新聞等マスコミにも PR の協力依頼をする。
- ④ わが街つくる会では坂本竜馬をテーマにした独自企画で祭りを盛り上げる。(本企画は中井委員が中心となって立案中)
- ⑤ 次回実行委員会(8/9 開催)で仮装大会、カボチャ重量当てクイズ、ときめき坂の飾り付けなど具体的な内容を詰めて行く。

これに関連して、雨宮会長よりわが街つくる会のイメージキャラクターの提案、紹介があり具体化して進めることで承認された。

また、戸所委員より、商店街活性化に対する国の補助金申請をしているところで、これが受けられれば、財政面のバックアップになるとの話があり、少し期待することとした。

2. 大津市バリアフリー「まちあるき点検調査」について

バリアフリー基本構想の検討に当たり、7 月 26 日(月)に点検調査が実施された。わが街つくる会からも雨宮会長、中井委員が参加し、平野学区の絡む、第 2、第 3 モデルルートを歩いた。高齢者や、障がい者にとって不安箇所、不適切箇所が多く見付き、本点検調査は大変有意義であったとの報告があった。今後も点検調査続けられるので積極的に関わって行くこととした。

3. 学区要望について

堀井委員（平野学区自治連会長）より、わが街つくる会の要望事項（＊）を学区要望事項の中に入れて提出したとの報告があった。

- （＊）①膳所駅橋上駅の店舗エリア内でのわが街つくる会の専用ブースの確保
②駅北側広場へのバス導入と停留所の設置、及び南側広場への路線バス導入と停留者の設置。

4. 平野学区での自主運営バス運行取組に対する行政の見解について

本件に関しては、現時点での自主運営バスの取り組みは、ひとまずペンディングすることを前回委員会で決議した。その上で、我々の活動に対する行政の見解を求めているが、今回大津市交通・建設監理課高田参事より、雨宮会長宛に書簡が届いた。その要旨は以下の通りである。

- ① 大津市の公共交通は平成 20 年度に策定した「大津市地域公共交通総合連携計画」に基づいて、「鉄道を中心とした公共交通ネットワークの維持・活性化」と「高齢化社会に対応した日常生活を支えるバス等の地域公共交通ネットワークの維持・活性化」を進めている。
- ② 平野学区の取り組みは、高齢者の生活利便性向上を図ることを目的としており、行政の考える高齢化社会対応にも該当するものである。
しかし、連携計画では既存公共交通の維持向上が大前提となっており、既存の公共交通事業者の理解と協力なしには問題解決は図れない。
- ③ コミュニティバスの運行および自家用車両による有償運行は平野学区の環境下ではいずれも不可能である。
- ④ 公共交通の活性化を図って行く上で、利用者の協力は不可欠で、今回平野学区が取り組んだ活動は貴重なものだったと評価する。今後も連携計画の方針に合致し、事業者の理解が得られる提案があれば市も協議会も支援を惜しまない。

本見解には何も目新しいものを感じない。要は業者が「うん」というものでなければ事は運ばないことを述べているに過ぎない。公共交通の枠を超えて、市民の立場に立った新しい交通システム等への取り組みの意欲は全く感じられない。

行政を動かして行くエネルギーは個々の市民の力の結集にしかない。

前回の会議で各委員からも述べられているように、これからは真の住民ニーズをしっかりと見極め、街づくりの一環として平野の交通問題に取り組んで行きたいものである。

以上